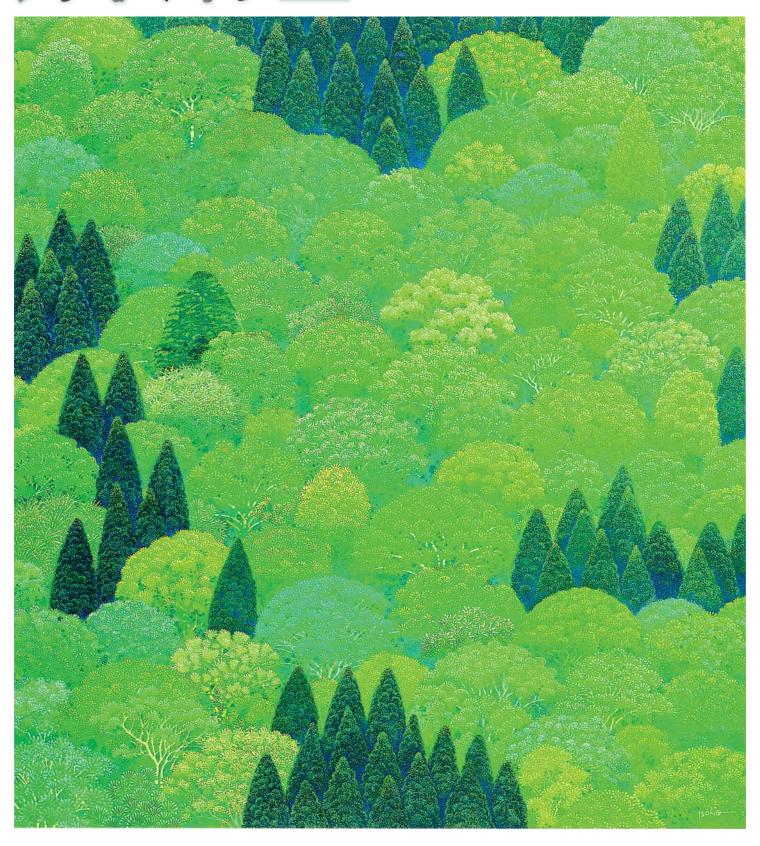
人も自然もいきいき

## 丹沢再生



丹沢大山総合調査実行委員会



表紙の絵について

## 磯野宏夫 森の国日本(「エメラルドの夢」より)

表紙の絵は、丹沢大山の将来像のイメ ージとして用いています。

## はじめに

丹沢大山は、国定公園に指定され、その豊かな自然環境と美しい景観から、身近な大自然として多くの人々に親しまれています。また、神奈川県民のかけがえのない水源地域であるとともに、自然資源を活かした産業などを通じて地域社会を支えるなど、多くの恵みを与えてくれます。しかし、近年になってその自然環境に大きな異変が生じ、しかも年々深刻化していることが指摘されるようになりました。

1980年代より、ニホンジカなどによる林床植生の衰退とそれに伴う表土の侵食、土砂流出による渓流の荒廃とダムの堆砂や水質汚濁、大気汚染等によるブナ枯れ、オーバーユースによる登山道の荒廃やゴミ・し尿処理の問題、さらには生物多様性の低下など、広域で複合的な自然環境問題が顕在化してきました。

わたしたち丹沢大山総合調査実行委員会(以下、実行委員会)は、こうした現状に強い危機感をもった500名余にのぼる調査員やボランティアの参加のもと、2004年4月から2年間にわたって丹沢大山における自然環境問題の解決を目指した学際的調査を実施いたしました。

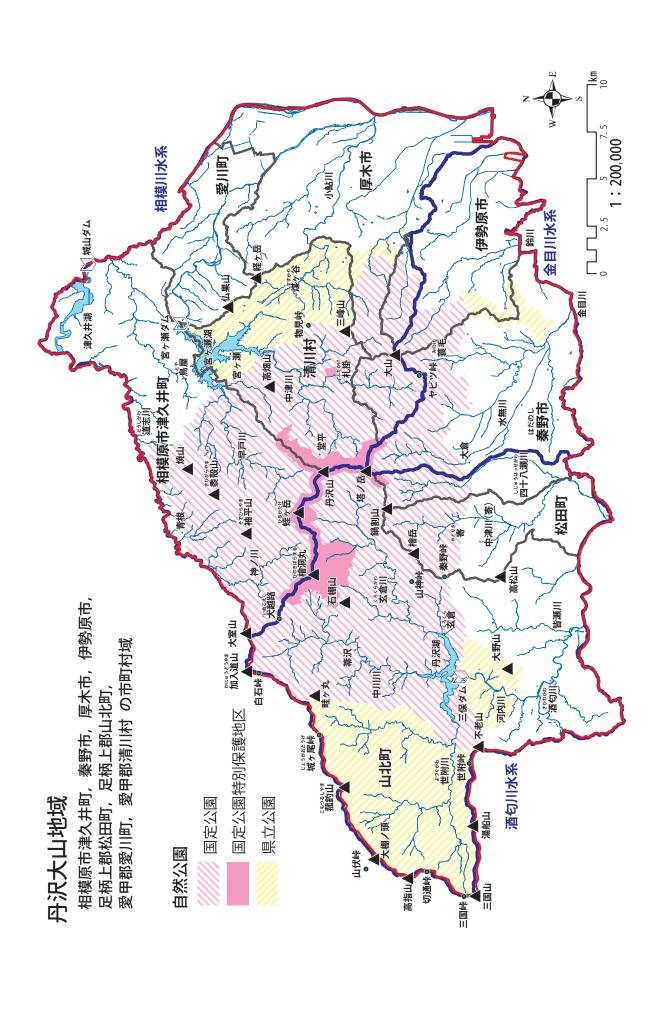
この調査の結果、現在、丹沢大山で起こっている多くの自然環境問題は、わたしたち人間によるさまざまな影響が原因で、それらが累積的かつ複雑に絡み合って発生していることが明らかとなりました。しかも、現在の状況を放置すれば、事態はさらに深刻化し、県民の生活に欠かせない水源の確保にも影響が出ると予想されます。

実行委員会では、調査を進めるのと同時に、最新の調査結果を県民に公開し、 また数多くの議論の場を提供しながら、これらの問題解決の方向を模索してきま した。

これらの議論を踏まえ、実行委員会は、これまでの保全対策のさらなる強化に加えて、積極的かつ戦略的に自然再生を実行していく必要があるとの結論に達しました。

そこで実行委員会は、総合調査の結果を分析し、自然再生の基本的な方向と新たな仕組みを示した診断書と処方箋である「丹沢大山自然再生基本構想」をとりまとめ、新たな政策として県へ提案することにしました。

これらの提言の確実な実行が、丹沢大山を再生させ、県民の生活環境を守ることになります、わたしたち実行委員会は、「環境再生の世紀」の実現を目標に掲げ、 県民と行政との協働によって、その実践を丹沢大山から発信したいと思います。



## 丹沢大山自然再生基本構想 目次

第1章 なぜ自然再生か 1	
1. 丹沢大山の概況と現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	}
1-1. 丹沢大山の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	}
1-2. 丹沢大山の自然環境の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4	1
1-3. 丹沢大山の自然環境をとりまく状況 ・・・・・・・・・・・ 5	)
2. 自然再生の取組に至る経緯と背景 ・・・・・・・・・・・・・ 8	3
2-1. 丹沢大山保全計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8	3
2-2. 新たな総合調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8	3
2-3. 自然再生の必要性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 10	)
3. 総合調査で明らかになった問題点 ・・・・・・・・・・・・ 11	
3-1. ブナ林の再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11	
3-2. 人工林の再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18	3
3-3. 自然資源・地域資源を活かした地域の自立とつながりの再生・・・・・ 23	}
3-4. 渓流生態系の再生 ・・・・・・・・・・・・・・ 30	)
3-5. シカの保護管理 ・・・・・・・・・・・・・・・ 35	-
3-6. 希少動植物の再生 ・・・・・・・・・・・・・・ 39	)
3-7. 外来種の除去 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45	-
3-8. 自然公園の適正利用 ・・・・・・・・・・・・・・ 49	)
第2章 自然再生の基本方針 57	
1. 丹沢大山における自然再生の枠組み ・・・・・・・・・・・ 59	)
1-1. 自然再生の定義と手法 ・・・・・・・・・・・・・ 59	)
1-2. 自然再生の対象地域 ・・・・・・・・・・・・・・ 61	
1-3. 自然再生における地域社会との関わり ・・・・・・・・・ 62	)
2. 自然再生の基本原則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64	1
3. 自然再生の目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68	
3-1. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・ 68	
3-1. 14 COVC	3
3-1. は しめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68	

第3章 自然再生の実行	71
1. 対策の評価と進め方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
2. 特定課題に対応した事業展開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75
2-1. ブナ林の再生の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75
2-2. 人工林の再生の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	79
2-3. 自然資源・地域資源を活かした地域の自立とつながりの再生の方向・・・	84
2-4. 渓流生態系の再生の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
2-5. シカの保護管理の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
2-6. 希少動植物の再生の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	99
2-7. 外来種の除去の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	103
2-8. 自然公園の適正利用の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・	106
3. 景観域における統合的な自然再生の推進 ・・・・・・・・・・・・	110
3-1. 統合再生流域の考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
3-2. 統合再生流域の候補地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
3-3. 統合再生流域における再生事業の推進 ・・・・・・・・・・・・	115
4. 実行体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116
4-1. 実行体制の枠組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116
4-2. 自然再生委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	118
4-3. 丹沢大山自然再生推進本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	119
4-4. 中核機関 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	119
用語解説	121